

主な記事

- 2面 2003年10大ニュース
- 4面 保険審査通信
- 5面 サタデナイトセミナー
- 6面 審査、指導・監査対策会議
- 7面 全国DVシンポジウム
- 8面 おサル先生の在宅医療入門

今月の会員数/988人(医科718人・歯科270人)

石川保険医新聞

発行所
石川県保険医協会
〒920-0902 金沢市尾張町1丁目9番11号
尾張町レジデンス2F
☎(076) 222-5373番 FAX(076) 231-5156番
編集部E-mail; iskw_sugino@doc-net.or.jp
発行人 井沢宏夫
印刷所 ソノダ印刷株式会社
購読料 1年間5,000円(〒共)
(※本紙の購読料は会費に含まれます)

ほろ酔いコンサート2003

食事とお酒と音楽で

石川県保険医協会の恒例行事である「ほろ酔いコンサート」が十一月十六日(日)の夕方五時から金沢都ホテルにて開催された。

コンサートは第一部と第二部に分かれ、間にディナータイムが設けられ、食事とお酒、そして音楽が楽しめるよう計画された。

七組の出演者を含め、約九十人の参加者が日曜日の

夕方のイベントを楽しんだ。

コンサートは大平政樹機関紙・文化部長と北山吉明編集長の軽妙な司会で幕を開けた。

トップバッターは、金沢大学医学部の山本博先生のバリトン独唱で、奥様のすばらしい伴奏で心ゆくまでドイッリートを歌われた。

次いで広崎晃雄先生(広崎外科医院・小松市)のクラシックギター演奏による懐かしい映画音楽が披露された。

一部の最後は村田祐一先生(むらた小児科医院)の篠笛独奏であった。長唄、日本歌曲、に続き、奥様の篠笛との合奏で「ふるさと」を参加者全員で合唱した。

第二部のトップは牛村繁先生(うしむら眼科クリニック・美川町)のギター独奏であった。さだまさし作曲の「北の国から」では高松弘明先生(高松医院)のマンダリンが加わり、また、舞台の横に置かれたスクリーンに北海道富良野の絵本がスライドで映し出されるなど、工夫が凝らされていた。

た。会場に響くギターとマンドリンの素朴なメロディが感動的であった。

二番目は北山吉明先生(北山クリニック)のテノール独唱で、耳慣れた日本の歌二曲が披露された。

コンサート最後の飾ったのは、今回も話題の多いあのハワイアンバンド、ドクトルアイランダーズであった。今年も新たなメンバー狩野宏成先生(かりの眼科医院)を加え演奏に厚みが増した。辻坂文夫先生(白菊医院)のスティールギター、吉村卓也先生(吉村眼科医院)のギター、力丸修先生(力丸医院)のベース、高松先生(前出)のウクレレも好調で、お馴染みのハワイアン数曲を披露した。最後に「見上げてごらん夜の星を」を大合唱し、和気あふいの内にコンサートは終了した。



篠笛独奏*村田祐一



ハワイアン演奏/ドクトルアイランダーズ

- ハワイアンギター*辻坂文夫
- ギター*吉村卓也
- ベース*力丸修
- ウクレレ*高松弘明
- ギター*狩野宏成



テノール独唱*北山吉明



クラシックギター独奏*広崎晃雄



バリトン独唱*藤村和昌



クラシックギター独奏*牛村繁



バリトン独唱*山本博



隣室で開かれた会員作品展



司会って楽しいね...と、大平政樹部長(左)と北山吉明編集長

医心凡語

熊本ハンセン病事件を聞いて、ホテル側の宿泊拒否は差別であり重大な人権侵害であるという報道が多かった。しかしながら、この問題は企業だけの問題ではない。ハンセン病患者を強制隔離しようとするこれまでの政府の人権侵害に対して、熊本地方裁判所はその判決でようやくライ予防法の違憲を認定したが、肝心の国民の認識は一向に変わっていないのである。つまり、国民の偏見と差別は依然として根深く存在している。

ホテル側は、ハンセン病の方々の宿泊を受け入れるのは構わない(本心はいやだったかも)。しかし、客の抗議と、それに逆らって宿泊を受け入れた結果、変な風評で宿泊客が激減するのが怖かったのではないかと推測される。感染症に対する一般の人々の偏見は、いまだに根深い。古くは結核症、最近ではエイズなどに対する差別と人権侵害は、今でも存在しているのである。協会のK氏の言われた「まずは、差別的行為をしないこと。この積み重ねが偏見を克服していくのである」と。まさしく、これにつぎるのではなからうか。

翻って、われわれ医療人も差別をきちんと克服しているか、自問自答しても答えはできない。その答えは、相手の目線に立った運動をさらに進めていくことで出していかなばならない。

社会保障を深く学ぶ

井上英夫金沢大学教授を迎え、「社会保障セミナー」をシリーズで開催し、「医療と人権」について学んだ。なお、ハンセン病と人権についても深く学び、「アイレディース宮殿黒川温泉ホテルによるハンセン病元患者の宿泊拒否に対する会長談話」を発表し、関係各所に送付した。



第1回社会保障セミナー (5月23日)

イラク攻撃に反対!

「私たち医療人はイラク攻撃に断固反対します」と当会定期総会でアピールを採択し、ブッシュ米大統領、ブレア英首相、小泉首相に要請した。またフォトジャーナリスト・森住卓講演会や「ヒバクシャ」金沢上映会などに取り組んだ「核戦争を防止する石川医師の会」に協力した。



森住卓氏の講演会 (6月29日)

産業医座談会を開催

本紙8月号特別企画として、企業家、労働組合、産業医がテーブルを囲んで、産業医の役割を拡大するための座談会「産業医への期待と注文」を開催した。



企業家と一緒に

医師・スタッフと一緒に学ぶ

「医師とコ・メディカルのための講演会」は、「摂食・嚥下障害のリハビリテーション」をテーマに石川県言語聴覚士の協力を得て加賀・能登両会場で開催したほか、新たに「排尿障害」シリーズを開始した。



90人が参加した摂食・嚥下のリハビリテーション講習会 (10月19日・加賀会場)

事故時の事務手続きを学ぶ

新しい分野の講演会「万が一の場合に家族に残すマニュアル」を開き、幅広い会員のニーズに答えるとともに新規開業懇談会を開催し、会員増に貢献した。(5月・7月)



講師に橋本明夫弁護士を▶
招いて (5月10日)

DV全国会議に参加

「石川おんなのスペース」と共同で行った「DVアンケート」の調査報告をもとに、2月22日、同会が開いたシンポジウムに高松弘明会長(当時)がパネリストとして出席。11月1、2日のDV全国会議第6分科会「医療機関との連携」にも高松名誉会長がパネリストとして参加し、ほか医師役員も出席し、今後も連携していくことを約束した。



井沢宏夫会長が就任

3月15日に開催した第29回定期総会において、高松弘明会長が勇退し、井沢宏夫新会長が就任した。4月19日には新旧会長歓迎迎会を開催した。



右が井沢宏夫新会長 (3月15日)

介護保険で「容認」勝利

「国際高齢者年・石川NGO」の介護保険オンブズパーソン(事務局:保険医協会)が代理人として支援した審査請求で「容認」の採決を3月、7月と連続して勝ち取った。介護保険制度が始まって以来、石川県において初めて不服申し立てが認められた貴重な成果である。



介護保険シンポジウム (8月30日)

歯科部が元気

保険医協会理事会の活性化をリードする歯科部に、今年も若手部員が多数増え、各部員の積極的な立案において、「歯科における救急対応」「歯科医院の接遇講座」「睡眠時無呼吸症候群(医科と共同)」などの様々な企画が実現した。いずれの企画も多数の参加があり、歯科会員のみならず、医科会員の参加率を高める活動にも寄与した。



歯科における救急対応の講習会で中新敏彦先生を招いて (8月9日)

会員デビュー講演が好評

4月26日の保団連研究担当会議および10月26日の全国若手医師・歯科医師のつどいにおいて、石川協会から「会員デビュー講演・シンポジウムの開催趣旨と意義」について報告し、好評を得た。



第5回会員デビュー講演会 (4月22日)

1100周年



第6回 会員デビュー講演③

テーマ 開業プロジェクトの始まりから開院二年間の歩み

病診連携をフルに生かして

中山クリニック 中山 渉 (金沢市・心療内科)

私は現在、心療内科・精神科クリニックの院長を... 備を始めて、二〇〇一年春に... 中山クリニックを開院いたしました。

母校の大学を退職する... にはまったく開業は考え... したいと考えたことによる

持論

われわれ医科の者が患者として歯科を受診する際、良い治療をしてもらう場合は、保険が効かない

医科から医科の皆さんへ

医科の皆さん！

もつと歯科の実情を知ってください

は考えられないことである。このこともまず組織的に弱い歯科部門を陥落させて実績を作り、



患者さんの立場に立って日々の診療を...と、中山渉会員

この条件に関してですが、開業するには診療に必要な検査はきちんとして

ですべてに目が届く規模、つまりちんまりした規模のクリニックというものと

では、一般に全体の収入の内八割以上が診療報酬からの収入である

新しいスキルを求めて活発に活動したり、全身の一部として口腔疾患に医科と協力して真摯に取り組んだりする姿をみて、大

今、まことに重大な時期である。医科、歯科協力して前進して行こう。

最近、少なくとも地方の歯科

第5回 社会保障セミナーのご案内

とき 2004年1月8日(木) 午後7時半～9時半
助言者 井上英夫 金沢大学法学部教授
テキスト 『高齢者の医学と尊厳死』 (大田満夫著・2,100円)
テーマ 終末期医療と人権
報告者 小川滋彦理事

が顔を出したといったエピソードもありました。後悔を少なくするには、契約が長い広告看板はさけた方が賢明かと思いましたが、

アイレディース宮殿黒川温泉ホテルによる ハンセン病元患者の宿泊拒否に対する会長談話

熊本県南小国町の「アイレディース宮殿黒川温泉ホテル」がハンセン病元患者ら22人の宿泊を拒否した問題で、熊本県地方法務局と熊本県は11月21日、同ホテルの総支配人とホテルを経営する株式会社アイスター（東京都港区）を旅館業法違反の疑いで熊本地検に告発した。また熊本、東京両地方法務局は、同ホテル総支配人と株式会社アイスターに対し、「ハンセン病元患者らの人権を著しく侵害した」として社員への指導、教育を徹底するよう文書で勧告した。

私たち石川県保険医協会は、今春から「社会保障と人権」をメインテーマに社会保障セミナーを隔月開催している。特に9月、11月は「ハンセン病と人権」をテーマにハンセン病の歴史や専門医が果たした役割、現代における感染症と人権問題、ハンセン病訴訟熊本地裁判決の意義について学んでおり、今回の問題は決して看過できない。

ハンセン病はらい菌によって皮膚、末梢神経が侵される病気であるが、らい菌の感染力は極めて弱く、治療した元患者から感染することは全くないと言われている。実際に全国に13カ所あるハンセン病療養所の職員で感染した人は一人もいない。

2001年5月11日の熊本地裁判決は、国のハンセン病患者に対する強制隔離政策の違法性とその重大な人権侵害を断罪した。判決は国の長期に渡る強制隔離政策、無らい県運動等によってハンセン病患者の人権を侵害・剥奪し、国民の間に差別・偏見を作出し助長したことを明確に認めた。裁かれたのは言われなき差別・偏見を作出・助長した国の責任である。

このような画期的な判決が出された熊本県で今回のような重大な人権侵害が起きたことは誠に遺憾である。しかし今回の問題は一ホテル側のハンセン病への無知、差別・偏見によるだけではありません。この背景には判決後2年半経過しているにもかかわらず、判決が国に求めた原状回復義務①ハンセン病元患者の社会復帰の支援、②生活、医療の保障、③名誉回復措置、④差別・偏見の撤廃に向けた施策がいずれも不十分、不徹底なためである。

当会では、ハンセン病元患者に対する言われなき差別・偏見による宿泊拒否について、株式会社アイスターと「アイレディース宮殿黒川温泉ホテル」に厳重抗議すると共に、熊本地方法務局と熊本県の刑事告発を支持し、さらに関係団体、地方自治体、とりわけ厚生労働省に対し、今回の事件を教訓にして、このような人権侵害を二度と繰り返さないためにハンセン病問題に対する正しい知識の周知徹底はじめ万全の施策を講じることを強く要望する。

2003年11月25日
石川県保険医協会
会長 井沢宏夫

ハンセン病元患者を差別したホテルに 猛省を促す抗議文(会長談話)を送付

ハンセン病を理由に「アイレディース宮殿黒川温泉ホテル」(熊本県南小国町)が国立ハンセン病療養所「菊池恵楓園」(同県合志町)の入所者らの宿泊を拒否した問題で、石川県保険医協会は、「アイレディース宮殿黒川温泉ホテル」によるハンセン病元患者の宿泊拒否に対する会長談話」を作成し、アイレディース宮殿黒川温泉ホテル総支配人及び(株)アイスター社長に厳重抗議するとともに、熊本県知事、黒川温泉観光旅館協同組合、熊本地方法務局、東京地方法務局、内閣総理大臣、厚生労働大臣、および石川県政記者クラブ加盟各社(十六社)にも送付しました。

画期的と言われた熊本地裁判決のお膝元で起きた事件だけに事態は深刻で、ハンセン病に対する言われなき差別・偏見の撤廃のための世論喚起が一層必要です。

『保険審査通信』に寄せられた相談事例

「保険審査通信」第193例の顛末について

本紙前号9頁保険審査通信第193例「医療は結果論？」に対して、国保審査委員から次の申し入れがありました。

国保審査委員からの送信メール

石川保険医新聞11月15日版「保険審査通信」第193例につきまして、誤解がありますので訂正をお願い致します。

まず、国保連合会審査委員会としましては、病名によって初診の休日加算を査定することは絶対にありえません。今月、医療機関からの復活依頼のレセプトを点検していましたが、投書をされた医療機関からと思われるレセプトに遭遇いたしました。

症例は、平成15年3月1日初診。病名1. (主) 咽頭炎：平成15年3月1日開始。病名2. 急性胃腸炎：平成15年3月1日開始。病名3. 逆流性食道炎：平成15年3月1日開始。

診療実日数は1日。(診療内容は省略いたしますが、記事にあった内容とほぼ一致します)

本症例は平成15年3月1日(土曜日)に初診の患者さんです。診療実日数は1日であり、休日に受診をされていません。

毎回、「保険審査通信」を読ませて頂いており、審査に遺漏のないように気をつけているつもりです。

しかし、本例のような記事が出ますと、多くの読者に誤解を招く恐れがあります。編集に当たっては、事実を確認の上掲載をお願いいたします。早急に訂正記事を掲載されることをお願いいたします。

なお、慢性疾患管理中の患者において、当月に急性疾患の発症が無く再診料に休日加算を算定してある場合、休日受診の理由がコメントに記載が無いと査定されますのでご注意ください。また、ガーゼ交換や定期的な注射など(例：慢性肝炎患者に対する強ミノC注射等) 予定されている診療には休日加算が算定できません。

上記の申し入れに対し、相談者に照会したところ次の返答がありました。

相談者からの経過説明

「受診日は3月2日(日曜日)であったが、レセプトには3月1日と誤って入力してしまった。カルテには3月2日と記載されており、これをみて国保連に電話照会をしていたため、行き違いがあった。申し訳ない。なお、

今回のような場合、“3月1日は土曜日であり、休日加算の算定不可”など査定理由を明記してもらえば、このような行き違いはなかったように思う。査定理由が分からず、納得いかなかったために当院職員が国保連に電話照会したものである。

国保連職員もレセプトが手元にない状態で電話対応したために、休日加算を時間外加算に査定減点した理由開示を求められて苦しまぎれに『その病名では休日診療の必要性がない(?)』と回答したのではないかと。レセプトを確認して“3月1日は土曜日で休日加算は算定できない”と査定理由をキチンと説明してほしかった。」

保険医協会のコメント・第193例は、全面削除

保険医協会では従来から「保険審査通信」の相談事例では、主治医の意見とともに当該レセプトも合わせて送付してもらっています。しかし今回はレセプトの送付依頼を怠ったため、上記のような事実誤認にもとづく協会のコメントとなり、国保再審部会や国保連職員に多大な迷惑をおかけし、本紙読者にも誤解を招くことになったことを深謝します。

なお、相談者からの返答にありますように、このような行き違いをなくするため社保・国保再審部会が保険者再審を「容認」する場合、査定理由を明記するようこの機会に改めて要望します。

また国保連職員の「その病名では休日診療の必要性がない」の回答云々については、事実誤認にもとづく電話対応であり、「保険審査通信」の本旨からも逸脱していますので、本紙前号の第193例「医療は結果論？」は全面削除します。

国保審査委員からの返信メール

訂正記事を拝見いたしました。

いつも石川県医師会社保委員会等でお話していますし、本年9月発行の「社保・国保審査委員合同協議会結果」にも記載してありますように、レセプト提出前にカルテとの照合をお願いしています。病名の不一致、開始日の不一致が無いように主治医自らが厳重に点検をお願いいたします。

レセプトは請求書であります。ミスの無いように主治医の責任において提出をしてください。

また、査定、返戻の通知が医療機関に届いた直後に電話で問い合わせる方がいらっしゃいますが、本例のように、手元に資料が無いと対応に行き違いが生じますし、医学的な内容では職員はほとんど対応はできません。

今後は、ファックス等文書でのお問い合わせをお願いいたします。

第二回保団連地域医療対策部会

地域ネットワークが重要

教育基本法への提言も

副会長 喜多 徹(野々市町・内科)

十一月十六日(日)、東京で本年度の第二回保団連地域医療対策部会が開催された。

在宅医療、医療連携、保健所問題、学校保健、インフルエンザ予防接種問題、国保資格証明書問題まで、例によって地域医療全般にわたる諸問題を討議した。

在宅医療活動として、全国の協会で行われている在宅医療研究会や地域のネットワーク作りの話題では、懇談会は、県下を巡回して各地域の会員、医療・保健関係者が集い、交流を図った。

十一月四日の第十三回理事会上に先立ち、事務局出張移動の候補地の見学を行った。参加者は九人で、そのまま協会事務局に移動し、三十分遅れで各部報告事項から開始。

総務部報告では、空き事務所に関する条件の再検討事項が挙げられた。学術・保険部からは、保団連「若手医師・歯科医師のつどい」において石川協会の活動紹介をした三宅先生からの参加報告のほか、

第13回理事会点描
そろそろ移転?
(11月4日・11人出席)

催日程確認が行われた。医療福祉部からは『福祉マップ(改定第六版)』

サタデーナイトセミナー

患者対応の理論と実践

五感の活用や身だしなみも

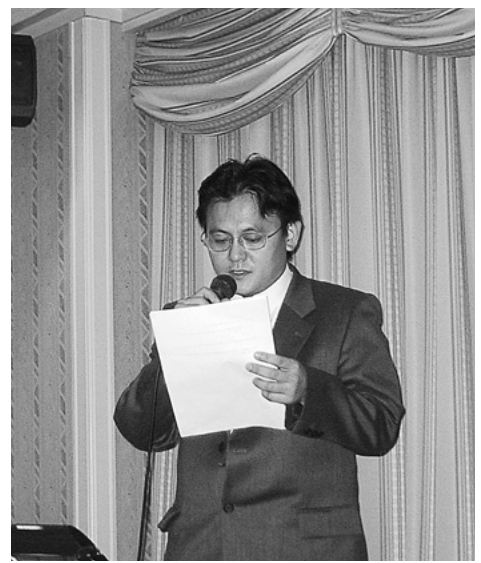
歯科部 山本 司(野々市町)

十一月八日に金沢都ホテルにて、患者対応のセミナーを開催した。



「プロのためのさわやか接客体感セミナー」をテーマに講演する資生堂シニアビューティー・ダイレクター神保洋子氏

十一月八日に金沢都ホテルにて、患者対応のセミナーを開催した。参加希望者多数のため先着順にて早々と申し込みを締め切らせてもらったが、それでも講演会場は手狭な人とスタッフ合わせて約百人の参加者があった。



司会を担当する筆者



予想を上回り、110人が参加したセミナー

保団連審査、指導・監査対策担当者会議

故川腰医師を偲び富山で開催

全国から例年の倍の参加者が

副会長 西田 直巳(金沢市小児科)

十一月一日に「富山個別指導事件」十周年の集いが、翌二日に「二〇〇三年度保団連審査、指導・監査対策担当者会議」が、富山市内で開かれた。

例年、この担当者会議は、三十協会七十人、八十人の参加であるが、今年度は、全国四十一都道府県から百三十五人の参加者があり、大いににぎわった。

一日目の十周年の集い 権利を守り、国民の負託に

富山個別指導事件十周年集会富山アピール

十年前の10月11日、富山県立山町の山間部で、地域医療に献身する若い医師が橋梁から身を投げ、自らの命を断った。

富山県保険医協会の調査によって、医師を死に追い込んだのは、県保険課が行った個別指導に起因することが、次第に明らかになった。

保険医協会と保団連の組織を挙げての取組みは、またたくまに全国に広がり、共感を呼び、富山県と厚生省への抗議が相次いだ。

その後、個別指導の前にまず集团的個別指導が行われるようになった。しかし厚生省は、平成10年に個別指導を優先するという方針転換を行い、保険医にとって個別指導は再び暗く、重いものとなっている。

一方、保団連・協会は、個別指導は行政手続法でいうところの行政指導であると主張してきた。現場では、持参物の軽減や指導対象カルテの通知など、少しずつ改善されてきた。

われわれは、富山個別指導事件十周年の今日、ここ富山に集い、事件の思いを新たに、指導・監査の行き過ぎを正し、保険医の権利を守り、国民の負託にこたえる立場を堅持する活動を、精力的に継続することを宣言するものである。

2003年11月1日

「富山個別指導事件」十周年の集い 一同



全国から135人、石川から4人(2列目左から)が出席

富山から 七つのキーワード

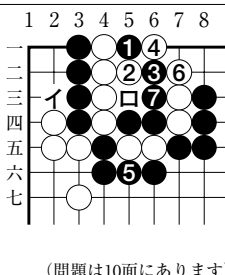
次に、富山協会、平井事務局長が二百ページを超える大作「指導・監査討議資料及び法令集」作成で学んだことという演題で、歴史認識、現状認識、法律解釈、会員相談、各県格差、医科

組む保団連の活動の推移、全国アンケートからみた指導・監査の現状、今後の課題と対策が述べられた。特に、医療費抑制策が指導の主な目的となっている今日、健康保険法の目的から逸脱した不当な指導に対抗するため録音と弁護士帯同について重点的に報告があった。

指導時の録音 すでに当然

指導・監査をめぐる各地の実態では、全国各協会から指導の状況が報告され、弁護士帯同が指導の現場に及ぼす影響などが話題となった。

囲碁解答



(問題は10面にあります)

将棋解答

1四香、同飛、一三香、二玉、一三飛、二三五、三五桂、同香、三三桂成、同玉、三三飛成、二四玉、三四角成、一三玉、二三馬まで十五手詰め。

(問題は10面にあります)

新刊紹介

『医薬品 日本医薬品集』

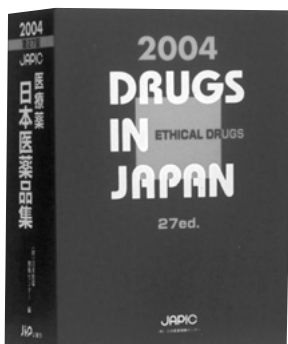
～お申し込みは、書店または(株)じほうへ～

“ハードディスク完全インストール” タイプCD-ROM 日本医薬品集DB

簡易院内医薬品集作成機能を搭載!

→CD-ROMシステム内に院内医薬品DBを構築し、随時メンテナンス・随時印刷が可能。

本書は、わが国に流通する全ての医療用医薬品約16,000品目について、組成、効能・効果、用法・用量、使用上の注意、作用、該当商品名(会社名)などの情報を収録し、審査関係の基準書にも使用される、大変権威ある医薬品事典の最新版です。



編集 (財)日本医薬情報センター (株)じほう 発行 定価 書籍のみ23,500円 書籍CD-ROMセット 42,000円(送料500円)

(株)じほう 電話: 03-3265-7751 FAX: 03-3265-7769

『全国シエルターシンポジウム』石川2003』に参加して

第六分科会・会場からのレポート

高松名誉会長がパネリストで

理事 大平 政樹(金沢市・外科)

十一月一日(土)〜二日(日)の両日、石川県地場産業振興センターを会場に、「第六回全国シエルターシンポジウム石川二〇〇三」が開催されました。石川県では初めての全国会議の開催で、DV問題に取り組み全国の関係者約五百人が出席しました。

保険医協会では、石川県内でのDV問題に取り組み「石川おんなのスペース(代表/深川明子・金沢大学名誉教授)」からの依頼を受けて昨年末に会員アンケートを実施。その調査結果をもとに今年二月に開かれたシンポジウムに高松弘明名誉会長がパネリストとして出席し、このたびの全国会議への協力も約束していたものです。

二日目に開かれた第六分科会「医療機関との連携」において高松名誉会長がパネリストとなり、このために緊急に調査した会員アンケートの集計を資料に、全国の関係者と討議しました。

日曜日快晴。新泉庁の辺りも紅葉が舞い、秋が色濃く「チャイルドラインいしかり。かわい女の子とドラわ」代表の高木さんに声をかけられ、すでに、おたおたしている。あー、でも彼が、現実を厳しく、なぜ女のお陰でちゃんと受付もか地場産業センターの会場にいます。昨日は診療で参加できず、今日午前の分科会「医療機関との連携」に参加した。

実は、私はとっても気が弱く、特に運動の最前線に立っている女性に対しては尊敬の気持ちはいっぱいあるのだが、声をかける勇気など持ち合わせてはいない。最初に東京中野区区議員、佐藤ひろ子さんより、DVに取り組み中での医療機関との連携が報告された。医療従事者へのアンケートを作るのに多大な時間と労力を要したこと。医師会と共同で行った調査の回答率は二八%、その内訳は医師が八五%と石川とはかなり様相が異なっていたこと、中野区では杏林大学教授である佐藤先生あるいは産婦人科医の山田先生などキーパーソンが存在し、医師会との共同講演会がアンケートの成功に繋がったこと。そしてそうした取り組みを元に行政への要求を強めていることなど、盛りだくさんの内容であった。



分科会でパネリストを務める高松弘明名誉会長(右中)

次に、石川おんなのスペース辛野香代子さんより、保険医協会と共同で行った医療機関でのDV実態調査が報告された。石川での有効回答率は二〇・六%。内訳は中野区とは異なり医師が二五%と少数だった。こちらでもDVの被害者がいたという答えが回答者の実に五割近くを占めた。驚くべき数字である。一方、その取り組みに関しては、医療者側とまどいがかぶりが上っていた。積極的に取り組もうとしたケースは二割に満たない。DVに対する意識、対応、どれをとつても未だ医療者の取り組みは遅れていると実感した。



特別講演師の大川光央金沢市立病院院長

今回印象的だったのは、会場からの医師の質問が活発であったことである。この点も、どちらかといえば医師の参加割合が少なかった過去の「医師とコ・メディカル」とは対照的で、今後、会員主導でこういった「医療と介護のはざまにある問題」を解決していく職能団体としての協会の未来を予見させるものとなった。

次回以降もご期待いただきたい。

医師の参加が増えて

シリーズ：排尿障害 第一回

医師とコ・メディカルのための講演会

理事 小川 滋彦(金沢市・内科)

十一月二十日(木)夜、金沢都ホテルにおいて、「シリーズ：排尿障害」の第一回「尿道留置カテーテルの管理について」が開催され、約八十人の多数の参加者があった。

特に今回印象的だったのは、会場からの医師の質問が活発であったことである。この点も、どちらかといえば医師の参加割合が少なかった過去の「医師とコ・メディカル」とは対照的で、今後、会員主導でこういった「医療と介護のはざまにある問題」を解決していく職能団体としての協会の未来を予見させるものとなった。

次回以降もご期待いただきたい。

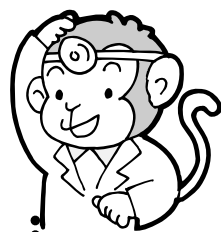
いる大平先生より一言と、なぜか、高松名誉会長が私に振る。ただでさえ、場違いなのである。頭がぐらくらして、何を言ったか覚えていない。

その後、医療機関での二次被害。「暴力を受ける側も悪い」という発想。診断書を書こうとしない医師。弱者の側に立つという基本的視点が欠落している。「DVは犯罪なのです」その罪としてのDV、人権を守

う繰り返す女性の叫びが心に突き刺さる。午後より全体会があり、大会アピールが採択された。会場は女性特有の熱気と、真剣さに満ちあふれていた。これは男性の運動には見いだすことのできないものである。そのエネルギーには驚嘆すべき物がある。ただ、はからずも分科会の参加者が言われた「犯罪としてのDV、人権を守

るための運動」としての取り組みが、今ひとつ弱いようにも思えた。それは依然この運動が男性を巻き込んだ大きなうねりとなっていないことにも繋がるのだから。DVその犯罪と人権」という分科会があつてはいいのだが、分科会が示された後、氏の恩師である大川光央氏(金沢市立病院院長)の特別講演にバト

ンタッチされた。本邦における「バイオフィルム病」としての尿道留置カテーテルの問題を提唱した第一人者である大川氏からは、その基礎的データを根拠に、なぜカテーテル交換は二週間毎なのか、なぜ抗生物質が効きにくいのか、なぜ間欠導尿の方が望ましいのか、などを絶妙の語り口で解説された。そして、最後はもう一度、バトンを戻された西川氏が会場の疑問に答える形で、男性の尿道留置のコツを披露するなど、基礎と臨床がほど良くミックスした医師にもコ・メディカルにも、満足



おサル先生の
在宅医療入門

54

小川 滋彦 (金沢市・内科)

『往診かばんの中身は?』の巻(その五)

せっかく、テレビ映画「サンダーバード」がNHK教育で再放送されており、ますのも、何かの因縁。ついでと言っては何ですが、サンダーバードの話題を続けてみます。

今から約四十年前に製作されたこのSF人形劇は、子ども向けとは言いがく、十分大人も意識して作られたものです。しかし、やはり四十年の間に当時とは社会通念が変化したな、と思う点もままあります。

乗客の様子が多々描かれていないのは、人形劇ゆえか。全シリーズを通して、救出されるのはいつも生存を確認された数人です。この辺りは操り人形劇の限界なのでしょう。そういえば、私も少年期に憧れた「すべり台」を使ったロケットへの搭乗シーンも、よく考えてみれば単に操り人形は「歩くのが下手」だからだったのかもしれないですね。

正義の味方にはインフォームド・コンセントは成立しないのでしようが、この場合、賠償請求は成り立つのでしょうか? この辺りが

昔のテレビだなあ、と思ってしまう。最後に今月発売された宝島社の「サンダーバード公式ガイド」。いみじくもこの指摘してありました。「救助隊なのに医療チームが編成されていない」。私は医者なのに、救助隊に看護師すらいらないことに疑問さえ感じなかった。、んんん、いやとウンチクを垂れながら、結局、少年の心を失ってないのだ、なんて言い訳をしたりして。

余談ですが、十年ほど前に出版されたムック本では、火災ごときで超高層ビルが跡形もなく焼け崩れてしまうのは荒唐無稽だと酷評されたのですが、九一一以来、誰もそれを言わなくなりました。パニックが表現されていない。六百人もの乗客を載せた原子力旅客機が胴体着陸しようとしているのに、

インフォームド・コンセントがない。国際救助隊の正体は秘密のベールに包まれています。そして、救出作戦はクライアントに対して明らかにされないことが多い。「われわれに任せてください」、そして最新鋭のメカによって無事救出されるとクライアントから感嘆の声があがる。うーん、今で言うところの「パターナリズム」ですね。子ども向け番組ですから、最後には必ず人命は救出されますが、クライアントの車両や建造物はこっぴどみじんになります。クライアントにしてみれば、もちろん人命は大事だけれども、できることなら建造物もなるべく壊さないで欲しい、と思ったかもしれない。正体不明

サタデイトセミナーのご案内

禁煙セミナー

禁煙支援は家庭・学校・職場・地域が一番、歯科・小児科が援軍で、成人医科は最後の砦

講師

服部 真氏
(城北病院副院長)

横矢喜代恵氏
(城北病院保健師)

参加対象

歯科医師、医師
スタッフ

開催日時

1月24日(土)
午後7時~午後9時

開催場所

都ホテル 7階 鳳凰の間
(JR金沢駅正面、TEL. 076-261-2111)

参加費

無料 (非会員医療機関からの参加は、おひとり5,000円)

◎参加をご希望の方は1月20日までに協会までお申し込みください。

TEL. 076 (222) 5373 FAX. 076 (231) 5156

12回シリーズ・その⑥

What The 「自閉症」

NPO法人日本ポータージ協会
石川湖南支部 認定指導員 出村 正栄

忘れられない失敗の数々

自閉症の人は見えないものや見えないことの理解が難しいという話は何度かさせて頂きました。人の現在進行形の行動は見えますが、心の中は見えません。見えないルールは伝わり難く、見えるルールは伝わりやすいのです。

たとえば、車が来るかもしれないから気を付けて道の端を歩こう。というのは伝わり難いですが、この道は白線の内側を歩くとか、電信柱をタッチしながら歩いて下さい。ということは伝わりやすいです。また、ある子は、夜、テレビゲームをいつまでも止めてくれません。タイマーや次の予定の提示をお願いしても、泣いて暴れてだめでした。考えた末、終わりにして欲しいゲームの場面を写真で予め伝えました。彼は嘘のように機嫌良く、自分でその場面を止めてくれるようになりました。「止めなさい」という否定ではなくて「ここまでしても良いからね」という肯定でこちらの勝手なお願いが伝わったのかもしれませんが、これも万人に通用するベストな方法というわけではありません。構造化(自閉症の人に分かる枠組みを作る)ということはその子に合わせて考えるということは簡単なことではないのです。案外すぐに見つかることもあります。なかなか合う方法が



見つからないことも多々あります。

現在は、石川県でも研究会で素晴らしい実践例を伺うことができますが、当初は講演会で見聞きして見よう見真似するしかありませんでした。教室のカーペットや家具の配置を変えたり、スケジュールを貼るくらいのことでしたが、それでも大きな変化がありました。今まで好きなように遊んで、少しだけ着席していた子や、初めて来室する子が座ってお仕事したり、対面でお勉強をしてくれる様は、まるで「狐につままれたような気持ち」でした。

最近出版された『自閉症の教育が楽しくなる本』柴田静寛著(無明舎出版)には、そのマジックの正体が驚きと感動と共に、たくさんの事例で紹介されています。今は狐でも、マジックでもなく、自閉症の人に分かる環境を用意すれば適応してくれるのは「当たり前」と思えるのですが、当初はしつぽが出ることも多かったわけです。カードを見せて無理強いしてしまったり、無理な課題を与えて泣かれたり、分からないスケジュールを書いてしまい激怒され思い切りボードごと投げられたことも何度かあります。追い込まれた子どもが机の下に隠れて出てこなかったこともありました。こちらも汗だく、子どもも汗だくで、まるでバトルのようでした。その時、数回で来なくなった親御さんがいらしたのも当然のことです。

今も時々、その子たちに悪いことをしてしまった、と反省します。その当時、講演会で見たアメリカの療育現場の映像はとてもショッキングでした。自閉症の幼児通園施設で一般職員がフレアスカートを履き、静かに優雅に子どもたちと接していたのです。予測的に行動できるようにその子に合わせた構造化をして、事前に準備が出来ていれば、ズボン履いて追いかける必要などないのだと思いました。

嫌悪や失敗経験は特に忘れられない障害と言われる自閉症でなくても、心痛い数々の失敗は、昨日のことに忘れられないもののように。今回は診断について、療育の立場から考えたいと思います。



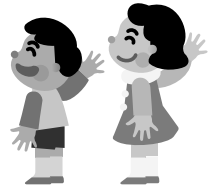
子どもたちは今

シリーズ 41

ハンセン病を学校で

故西嶋弘子先生への哀悼の意と共に

事務局長 杉野 洋一郎



教育研究者の立場で本紙を愛読され、「医療・社会保障が抱える問題と教育が抱える諸問題には共通点が多く、患者の立場に立った

「子どもたちは今」を愛読され、自らも数回にわたって執筆されるとともに、本紙への寄稿者を次々に紹介して下さった西嶋弘子先生が、十一月二十二日朝、急病で亡くなられた。三年前に教員を退職後、金沢大学・福井大学の教育学部で教鞭を執られながら、石川

この「子どもたちは今」に、この「子どもたちは今」から、謹んで哀悼の意を表したい。

「もっと勉強しよう」と熊本の子どもたち

さて、十一月十八日のインターネット上に「ハンセン病・元患者らホテル宿泊拒否される 熊本」という見出しでニュース速報が流れた。国立ハンセン病療養所「菊池恵楓(けいふう)園」(合志町)の入所者が、南小国町の「アイレディー

「もっと勉強しよう」と熊本の子どもたち

さて、十一月十八日のインターネット上に「ハンセン病・元患者らホテル宿泊拒否される 熊本」という見出しでニュース速報が流れた。国立ハンセン病療養所「菊池恵楓(けいふう)園」(合志町)の入所者が、南小国町の「アイレディー

「もっと勉強しよう」と熊本の子どもたち

さて、十一月十八日のインターネット上に「ハンセン病・元患者らホテル宿泊拒否される 熊本」という見出しでニュース速報が流れた。国立ハンセン病療養所「菊池恵楓(けいふう)園」(合志町)の入所者が、南小国町の「アイレディー

「もっと勉強しよう」と熊本の子どもたち

かれた学校」とは、こんな授業が自然に行われる学校を言うと言確信する。

今年、「夏休み帳」の使用を一齐に廃止したというニュースが記憶に新しい。平和を願う教師たちが、子どもたちに適切な副教材としてほとんどの学校で使用していたローカル色豊かな教材だったが、なぜか突然、一齐に校長の決定により廃止され、とまどった教師や親たちの説明要求にも答えなかつたという。現場の教師たちが適切として使用していた教材を、明確な理由なきまま各学校一齐に強硬な校長判断がなされたことに恐ろしさを感じざるを得ない。この石川県では、先

「子どもたちは今」を愛読され、自らも数回にわたって執筆されるとともに、本紙への寄稿者を次々に紹介して下さった西嶋弘子先生が、十一月二十二日朝、急病で亡くなられた。三年前に教員を退職後、金沢大学・福井大学の教育学部で教鞭を執られながら、石川

この「子どもたちは今」に、この「子どもたちは今」から、謹んで哀悼の意を表したい。

「もっと勉強しよう」と熊本の子どもたち

さて、十一月十八日のインターネット上に「ハンセン病・元患者らホテル宿泊拒否される 熊本」という見出しでニュース速報が流れた。国立ハンセン病療養所「菊池恵楓(けいふう)園」(合志町)の入所者が、南小国町の「アイレディー

「もっと勉強しよう」と熊本の子どもたち

さて、十一月十八日のインターネット上に「ハンセン病・元患者らホテル宿泊拒否される 熊本」という見出しでニュース速報が流れた。国立ハンセン病療養所「菊池恵楓(けいふう)園」(合志町)の入所者が、南小国町の「アイレディー

「もっと勉強しよう」と熊本の子どもたち

さて、十一月十八日のインターネット上に「ハンセン病・元患者らホテル宿泊拒否される 熊本」という見出しでニュース速報が流れた。国立ハンセン病療養所「菊池恵楓(けいふう)園」(合志町)の入所者が、南小国町の「アイレディー

「もっと勉強しよう」と熊本の子どもたち

さて、十一月十八日のインターネット上に「ハンセン病・元患者らホテル宿泊拒否される 熊本」という見出しでニュース速報が流れた。国立ハンセン病療養所「菊池恵楓(けいふう)園」(合志町)の入所者が、南小国町の「アイレディー

「もっと勉強しよう」と熊本の子どもたち



早川ドクターの山三昧

【第22話】 巨木との出会い

早川 康浩(金沢市・内科)



石徹白の大杉

僕の登山の楽しみの一つに、山中での巨木との出会いがある。山での代表的な巨木と言えば杉やブナ、桂の木であろう。重荷を背負い、険しい山道を歩いているときでもブナや杉、岳樺などの木々の中で森林浴するだけで疲れはほぐされ、ストレスは解消され、なぜか安らぎを覚えるのは、感じるのだらう。山行中、樹齢千年を越え、幹周り十メートルを越すような巨木に出会うと、とても特をしたような気分になるから不思議なものである。自分が生まれる遙か太古の昔から、誰にもその存在をじゃまされることなく、同じ場所

この先自分が死んでからも、さらに何百年も生き続けることを考えればますます感慨深い。巨木の歴史を考えると、人の人生八十年なんて本當にちっぽけなものである。こうした巨木は、高く伸びるほど落雷や台風の影響を受けやすくなるから、大きくなればなるほど驚かせられた。屋久島は台風の通り道に存在する

九州福岡県の霊山英彦山にある鬼杉も樹齢千二百年のそれは立派な巨木である。市ノ瀬から敷を漕いで沢を数本渡って行かなければならぬ

今僕が最も関心を寄せているのは、最近白山系の山奥で発見された桂の巨木である。市ノ瀬から敷を漕いで沢を数本渡って行かなければならぬ

今僕が最も関心を寄せているのは、最近白山系の山奥で発見された桂の巨木である。市ノ瀬から敷を漕いで沢を数本渡って行かなければならぬ

今僕が最も関心を寄せているのは、最近白山系の山奥で発見された桂の巨木である。市ノ瀬から敷を漕いで沢を数本渡って行かなければならぬ

今僕が最も関心を寄せているのは、最近白山系の山奥で発見された桂の巨木である。市ノ瀬から敷を漕いで沢を数本渡って行かなければならぬ

今僕が最も関心を寄せているのは、最近白山系の山奥で発見された桂の巨木である。市ノ瀬から敷を漕いで沢を数本渡って行かなければならぬ

今僕が最も関心を寄せているのは、最近白山系の山奥で発見された桂の巨木である。市ノ瀬から敷を漕いで沢を数本渡って行かなければならぬ

今僕が最も関心を寄せているのは、最近白山系の山奥で発見された桂の巨木である。市ノ瀬から敷を漕いで沢を数本渡って行かなければならぬ



英彦山の鬼杉

この杉は、樹下の最大直径が巨木です。木の直径は12.4m、樹高は15m、分岐した枝の直径は38cm、樹齢はおよそ1200年と推定され、今では国の天然記念物に指定され、白川郷の天狗杉と並び、日本一の巨木とされています。

DVと医師

高松 弘明 (金沢市・内科)

二〇〇三年は、二回にわたってDV (Domestic Violence) に関するシンポジウムに、石川県保険医協会からのパネリストとして参加する機会があった。

一回目は、二月二十二日、民間非営利団体「石川おんなのスペース・代表深川明子金沢大学名誉教授」が、厚労省の委託事業として主催し、「医療関係者のみだりDV被害の実態と対策」をテーマに保険医協会が全面協力したものである。

二回目は、十一月二日、全国シエルターシンポジウム石川二〇〇三実行委員会 (委員長深川明子名誉教授) 主催のシンポジウム分科会「医療機関との連携」であった。

を上回る回答を得、医師のDVに対する関心が高まってきていることを知ることができた。石川県地場産業振興センターいづれの会場も、DV問題への熱い思いが充満していたが、とりわけ、十一月の全国大会では、さすが、全国津々浦々で活躍しているメンバーの集まりだけあって、凄まじいともいえる熱気に会場はあふれかえっていた。損得を抜きにした多くの参加者の情熱に、心からの感動を覚えたのは、久しぶりだったかもしれない。

制定以来、三年目を迎えようとしているDV防止法をめぐって、いろいろな提言がなされ、より実効性のある法への改善に大きな影響を与えたといえよう。


DVにかかわる医師の役割については、医師への期待がおどろくほど大きいことであらためて身が引き締まった。どちらかといえば、これまで、医師は二次被害を起こす張本人であった可能性がある。なにげない一言が、被害者の心を傷つけ、ときには自殺にまで追いこんだ事例を聞かされると、責任の重さを感じざるをえない。

悪性腫瘍の早期発見と同じく、いかにして、DV被害者を早期に見つけ出すか。非言語的な様態から、心身の苦悩をいち早く読み取る技術は、臨床医のもっとも基本的な資質を問われているのである。

●年末・年始休務のご案内●

次の期間、事務局を休務させていただきますので、よろしくお願ひします。

**十二月二十九日(月)から
一月五日(月)まで**



極端にいえば、「女性をみたらDVを疑え」というてもよいかもしれない。常にアンテナを張り巡らしておくことだろうか。

もうひとつは、DV問題は、倫理規範ではないことをしっかり分かっておかないと失敗する。救済を求めている女性は、それが良いこと悪いこととまったく関係なく、救済しなければならぬのである。人権問題そのものと理解しないと解決しない。見つけた被害者のその後をどうするかについては、シエルター、医療費、子どもの養育、その他いろいろな課題が山積しているが、医師としては逃れてはいけない。多くの機関と連携をとり、少しずつでも前向きな取り組みに参加したいと思う。

エルキュールポアロと母指多指症

たまたま出会った言葉に人は思いがけず救われることがある、という話。

手の先天異常治療を専門にしていた僕の研究テーマは母指多指症の発生機序解明と新しい治療法の確立という大変難しいものであった。とはいってもこのテーマは自分で勝手に決めたものであったから辛い苦しいは自業自得といえはそれまでであった。母指多指症とは生まれつき親指が二本存在する先天異常で、日本人を含めた東洋人に最も頻度の高い手の先天異常である。だからこの疾患の原因

を突き止め、より完璧な治療法を開発することは患者にとって大きな福音である。当時の手の先天異常研究会でも母指多指症の発生と治療をめぐってけんけん

を要するからだ。これに比して動物実験では時間的制約は少なく、短期間に結論が出せるから、さつさと博士号を取って研究生活と

を繰り返す日々であったが、そんなことは学生時代の体育会系部活動で慣れきっていたので、さして辛くも苦しくもなかった。何よりも単調ではあるが頭の要らない作業であることがうれしかった。こうして数年にわたる肉體労働の結果、ようやく目標とした数のデータが得られた時の喜びはまさしく試合に勝った喜びそのものであった。

「道に向こうに必ず楽園がある」と信じこむ強い妄想である。僕は確信している。当時、僕はまさしくこれらの特権を振りかざし研究街道をばく進していた。ひたすら同じことを黙々と

「道に向こうに必ず楽園がある」と信じこむ強い妄想である。僕は確信している。当時、僕はまさしくこれらの特権を振りかざし研究街道をばく進していた。ひたすら同じことを黙々と

「道に向こうに必ず楽園がある」と信じこむ強い妄想である。僕は確信している。当時、僕はまさしくこれらの特権を振りかざし研究街道をばく進していた。ひたすら同じことを黙々と

「道に向こうに必ず楽園がある」と信じこむ強い妄想である。僕は確信している。当時、僕はまさしくこれらの特権を振りかざし研究街道をばく進していた。ひたすら同じことを黙々と

「道に向こうに必ず楽園がある」と信じこむ強い妄想である。僕は確信している。当時、僕はまさしくこれらの特権を振りかざし研究街道をばく進していた。ひたすら同じことを黙々と

「道に向こうに必ず楽園がある」と信じこむ強い妄想である。僕は確信している。当時、僕はまさしくこれらの特権を振りかざし研究街道をばく進していた。ひたすら同じことを黙々と

北山ドクターのえっせいエッセイ 22

北山 吉明 (金沢市・形成外科)

「道に向こうに必ず楽園がある」と信じこむ強い妄想である。僕は確信している。当時、僕はまさしくこれらの特権を振りかざし研究街道をばく進していた。ひたすら同じことを黙々と

「道に向こうに必ず楽園がある」と信じこむ強い妄想である。僕は確信している。当時、僕はまさしくこれらの特権を振りかざし研究街道をばく進していた。ひたすら同じことを黙々と

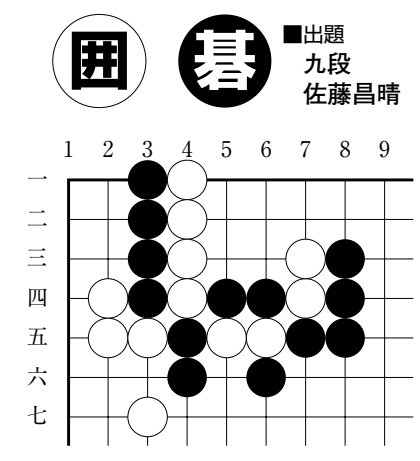
「道に向こうに必ず楽園がある」と信じこむ強い妄想である。僕は確信している。当時、僕はまさしくこれらの特権を振りかざし研究街道をばく進していた。ひたすら同じことを黙々と

「道に向こうに必ず楽園がある」と信じこむ強い妄想である。僕は確信している。当時、僕はまさしくこれらの特権を振りかざし研究街道をばく進していた。ひたすら同じことを黙々と

「道に向こうに必ず楽園がある」と信じこむ強い妄想である。僕は確信している。当時、僕はまさしくこれらの特権を振りかざし研究街道をばく進していた。ひたすら同じことを黙々と

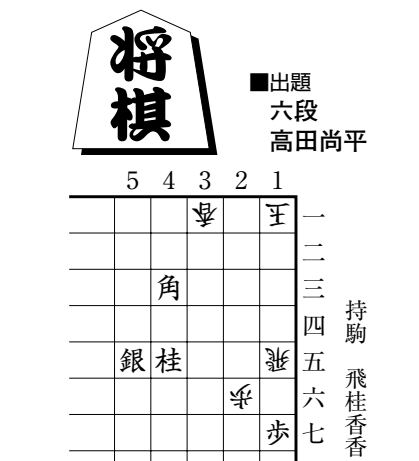


囲碁 出題 九段 佐藤昌晴



黒先勝ち 5分で有段者
(ヒント) 初手が妙手です。
(解答は6面にあります)

将棋 出題 六段 高田尚平



持駒 飛桂香車
桂香をうまく捨てる。
10分で二段。
(解答は6面にあります)